

SHIN CLUB 166

(株)辰 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F

tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



今月のトーク/monthly talk

「表参道けやきビル」撮影：團紀彦建築設計事務所

年頭のご挨拶

あけましておめでとうございます。

皆様にはお健やかに新たな年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は最重要課題を「経済」と銘打った、所謂アベノミクス効果で、人手不足の建設業界はもとより社会全体がせわしい1年でした。政府主導のこのような状況は、消費増税の面子もあり、今年も続くものと思われまます。おそらく具体的には、株価も何が何でも2万円突破を目指すのではないのでしょうか。

このような景気浮揚策は、仕組まれた舞台上で踊らされているようであり、むしろ建設業界は危うい局面に入ったのではないかと私は心配し、構えてまいります。

今年、弊社は創立15周年という節目を迎えます。子供の成長に例えますと、中学3年生であり、高校受験という大事な成長期でもあります。幸い、会社の状況は“健康”であり、良い基礎体力はついたのではないかと自負しております。

また、皆様方からのご支援で特徴ある建築施工に特化した「建築屋」として邁進してまいりました結果、昨年これまでに最も難易度の高い表参道のビルを完成させることが出来ました。

弊社はこのビルを「建築屋」としての一里塚と捉え、足元を真摯に見つめながら、更に高みの建築に挑戦し続けることで進化し、世のため人のためになる「建築屋」をめざして参ります。

どうぞ皆様、これまで同様のご支援・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます

2014年 元旦

(株)辰 代表取締役社長

森村 和男

表参道けやきビル



共生的介入 (a symbiotic intervention) について

この建物は、表参道とそれに直交する小道との角地に計画された 8 階建ての商業ビルである。西側に隣接しているのは伊東豊雄氏の設計による TOD'S ビルで、建物が L 字型をしているためにちょうどこれに囲まれたような格好になる。

以前建っていた古い建物は、表参道に対してのみその正面が向けられていたため、建物の小道側の側面がビルの裏側のようにごちなく露出していた。この度の計画では、やや不整形ながらも円形に近い平面を用いることで、対角線の方向性を発生させている。これは、角地である敷地の特性を活かすためであり、また隣接する TOD'S ビルと馴染みながら、お互いの存在をより街に開き、立たせるような「共生」的な相乗効果を図るためでもある。

建物の構造は、鉄骨鉄筋コンクリート構造で、外周部に板目打ちコンクリートの長葉状列柱を配列した。

表参道は、東京を代表するファッションストリートであり、その美しいケヤキ並木が通りに連続性を与えている分だけ、繊細なデザインのビルがそれぞれ主張をしながら、比較的自由に立ち並んでいるのが特徴となっている。歩行者の数も多いため、歩きながら少しずつ表情が変化し、動きの中で意味を持つ建物とした。木の幹のような板目打ちのトーチ状フォルムによる垂直方向のスケール感や、板目打ちコンクリートの素材感といった、周辺にはない要素を敢えて投入するインターヴェンションをこの街路空間に行うことで、建物だけではなく表参道の町並みの「気」を、より豊かで生き生きとしたものにしたいと考えた。

(團紀彦)



所在地：渋谷区
 構造：SRC 造
 規模：地下 2 階、地上 8 階
 用途：物販店舗
 設計・監理：團紀彦 / 團紀彦建築設計事務所
 施工担当：夏井、田所
 竣工：2013 年 11 月
 撮影：①②高山幸三
 ③④⑤HUGO BOSS

①建物上層階を臨む。17本の外周列柱は形状が全て異なる。建物は下層階から4階までは上部に行くにつれ細くなり、4階からは逆に広がっていく。隣接するTOD'Sビルと響き合う、有機的なフォルムを形成している②きらびやかな表参道の夜景。柱の間から内部のインテリアが明るく浮かび上がる③地下1階から3階までは、ドイツのファッションブランド、「HUGO BOSS」が出店④1階店内より表参道の方を臨む⑤2階インテリア。コンクリート打ち放しの列柱がインテリア空間の背景となって見える

高輪の和のワイン屋さん

森 俊彦 / (株)オーデックス・ジャパン代表取締役



建築家 鈴木恂氏の南イタリア旅行のフォトスケッチ
「Campania felix 写真展」odex glasshouse II で開催中
2014年3月31日まで。10:00~17:00
(定休日：祝日。5月まで土日ともオープン)

Nino
Mori

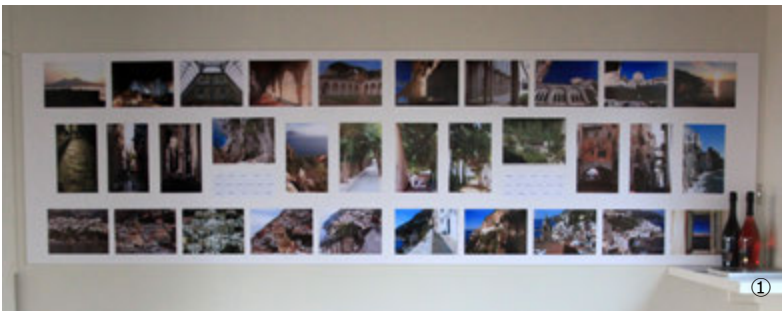
森俊彦氏。愛称はNino。odex glasshouse II の2階テラスにて 撮影：編集部

今月は、ShinClub158号でご紹介した「GLH」の建て主 森俊彦様に、ご自身のワイン輸入会社「odex japan」が開催されている企画についてお話を伺いました。

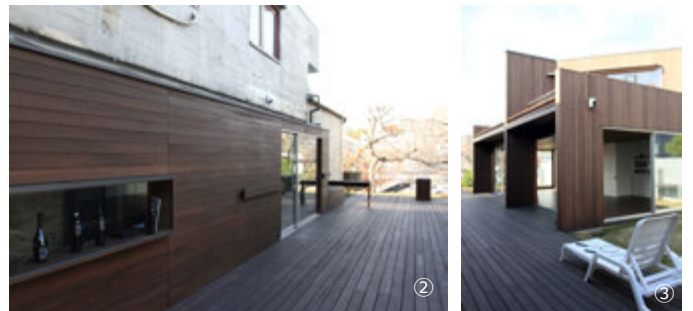
まだイタリアワインが日本で今のように注目を浴びる以前、日本のワインショップに置かれているワインのほとんどがフランスワインという時代に、イタリアワインの魅力を伝えたのが森様です。高輪に20年前に購入された「odex glasshouse I」が建築家、鈴木恂先生の設計の「NAH」と知った森様は、鈴木先生の事務所 AMS に連絡を取り、それから設計者と新しいオーナーとの粋なおつきあいがスタートしました。隣地に新たに「GLH」＝「odex glasshouse II」を鈴木先生の設計で建てた森様は、ナポリとメキシコが好きという共通の好みもあり、この10月、南イタリアのカンパニア地方でも魅力的な都市、アマルフィ、ポジタノ、カプリ、ナポリを巡る旅に2人でお出かけになりました。

鈴木恂先生は設計だけでなく、『回廊』『天幕』という写真集も出されていますが、今回はフォトスケッチされた各地のショットを、『Campania felix 写真展』(カンパニアは、ローマ時代から常にfelix＝ラテン語で「幸せな」という枕詞をつける)として「odex」で開催中です。

森様は、この新しくIIも加わった「odex glasshouse」で、「もっと気軽に多くの方にワインを楽しんでいただきたい」「和食にこそ合うヨーロッパのワインを知ってほしい」と海外の著名な生産者に作らせた、手頃な価格の8つのワインを試飲してもらおう企画をすすめています。IとIIの建物、そしてその間に大きく広がるデッキ「piknik takanawa」を、12:00～14:00まで無料開放。お弁当の持ち込みOKで、帰りに試飲していただき、2本以上ワインをお買い上げの方には、Iの「Book cafe」でコーヒー1杯無料サービスも行っています。高輪にできたおしゃれな「Waの和飲(ワイン)」空間に、皆様もぜひお出かけになってみてはいかがでしょうか。



①鈴木恂氏フォトスケッチのコーナー。カプリ島のマラパルテ邸など、南イタリアの有名建築が見られる②デッキからみたodex glasshouse I。壁にガラス窓を設けて外からもワインが見えるようにしている。来訪者は好きな場所にテーブルとイスを持って移動できる。「Book cafe」はこちらの建物の2階③odex glasshouse IIをデッキから臨む



「和食にぴったりの美味しいワインを Wa (和) のワインのお店で試飲してみませんか」

森 俊彦 (愛称 Nino)

1964年 東京外語大学ドイツ語科卒業

1966年 ドイツ・ケルン大学経営学部留学

イダ・ダヴィドセン コペンハーゲン

丸紅株式会社、赤井電機株式会社貿易部

1972年 ODEX JAPAN 設立

営業内容：フランス、イタリア、スペイン、オーストリア、ポルトガル
ワインの輸入卸

主要仕入れ先：エルヴェ・シゴー、ミシェル・ニーヨン、マシャレツリ、
サンジュスト・ア・レンテナノ、テルモ・ロドリゲス、マルクス・フー
バー、カルム、etc

主要販売先：マンダリンオリエンタルホテル、ブルガリ、ミッシェルト
ロウグロ、志摩観光ホテル、ラトリエドゥジョエルロブション、シェイノ、
カノピアーノ、ヒロ、グローバルダイニング、ポンテベッキオ、ダノイ、
サンパウ、東急百貨店、TY Express、etc

〒108-0074

東京都港区高輪 4-1-22

TEL:03-3445-6895 FAX:03-3445-6288

http://www.odexjapan.co.jp/



海外の著名生産者によるワインは、どれも1890円とお手頃価格。ラベルのデザインもおしゃれです。左から
wachamanbo (ポルトガル・赤)
wamadeus (オーストリア・白)
wabisamba (スペイン・白)
wassanova (スペイン・赤)
※1月は、11本以上お買い求めいただくと、シャンパーニュノープルを1本プレゼント

取材日は、12月の冷え込んだある日。寒いのに「いつも裸足」という森様はTシャツに綿のシャツを重ね着されただけ。エアコンは嫌いでいつも太陽の当たる場所に移動しながら1日のお仕事をこなされるそう。odex glasshouse IIの2階は景色もよく、陽射しで床も暖かく、お気に入りの場所とのことでした。



「PLAZA EST 新宿 3 丁目」竣工式記事について

先月号で、竣工式（2013年11月19日）のご紹介をさせていただいた「PLAZA EST 新宿3丁目」の文中にいくつか誤りがありました。

関係者の皆様に深くお詫び申し上げます。正しい建物概要は、右記の通りです。

また、今月はテナントとして入られた、2つのワインのお店をご紹介します。いずれも美味しいお料理と、それぞれのワインの楽しみ方ができるお店です。どうぞ、お出かけください。

（次号で建物概要をご紹介します予定です）



所在地：新宿区新宿 3-2-7
 構造：S造+SRC造
 制震構造
 規模：地下1階、地上9階
 用途：店舗・事務所
 （地下1階から2階は店舗、
 3階から9階は事務所）
 設計：鈴木孝紀
 /鈴木孝紀建築設計事務所
 事業主：海老忠会館
 TEL：03-3352-9201

B1階 フランスワインとフレンチの店
銀彗富運（シルバースプーン）

同じ新宿3丁目にある「彗富運（スプーン）」の2号店。フランスワインを豊富に取り揃え、お料理はその日に仕入れた新鮮な素材を活かした日替わりのアラカルト。

「ワインは、基本的に好きなものだけ、探求していけばいいですよ。和食ならブルゴーニュのピノ・ノワール（赤）がおすすめ。出汁とのバランスがいい。白なら、シャルドネだね」と大八木シェフ。

予約しないと入れない人気店です。

営業時間 17:00～LO.24:00

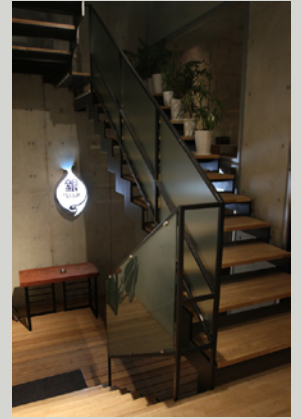
TEL：03-6457-4249（ご予約はお電話で）



B1 テーブル席とカウンター



落ち着ける小上がりも用意



地下入口への階段

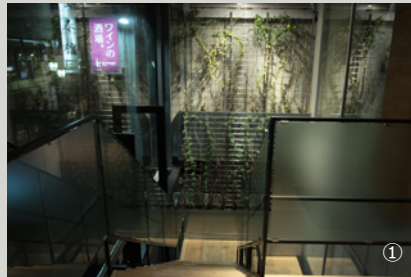
2階 アットホームな雰囲気地域密着型ワイン酒場
Di PUNTO（ディプント）

銀座、恵比寿で人気のワイン酒場が新宿3丁目にオープンしました。看板メニュー、「イタリア産生ハムとサラミのてんご盛り」を食べて、ランブルスコ（弱発泡赤ワイン）をふんだんに飲む、イタリアの定番スタイルをお楽しみください。

「ワイン初級者の方にも敷居の低い、ワイン居酒屋の先駆けの店です。ピザやバーニャカウダ、アヒージョなどの人気メニューのほか、パンはおかわり自由。スタッフは、『こんばんは』と友人を家に招き入れるように、お客様をお迎えます」と岩田店長。テーブル席 40人分のほか、カウンターもご用意しています。

営業時間 17:00～LO. 曜日によって違います。

（月～木 2:00、金・土 4:00、日・祝 24:00） 定休日：無休
 TEL：03-3351-2210



①



③



②

- ①入口への階段は緑化が施されている
- ②カウンター
- ③木の味わいを活かした店内

「M5 新築工事」上棟式 12月14日



桜新町の閑静な住宅街に建つ1階がテナント、2階が賃貸、3、4階がオーナー邸の建物です。

構造：RC造
 規模：地上4階
 用途：共同住宅
 設計・監理：内海智行
 /ミリグラムスタジオ
 完成予定：2014年2月

「新富士ビル新築工事」上棟式 12月17日



品川駅港南口から徒歩1分、1階から9階まで飲食のテナントビルです。

構造：S造
 規模：地上9階
 用途：店舗
 設計・監理：HOU 一級建築士事務所
 完成予定：2014年1月

編集後記

・あけましておめでとうございます。発行日が遅くなりましたこと、お詫び申し上げます。今年もShinClubをよろしく願います。

(株)辰通信 Vol.166 発行日 2014年1月16日 編集人：松村典子 発行人：森村和男

東京都渋谷区渋谷3-8-10 TEL:03-3486-1570 FAX:03-3486-1450 E-mail: daihyo@esna.co.jp URL: http://www.esna.co.jp